

260 SUNDANCER

サンダンサー 260 SUNDANCER

- | | |
|--|--|
| 主要諸元
●全長:8.10m スイムプラットフォーム含む
●全幅:2.59m ●乾燥重量:3,152kg
●燃料容量:284L ●清水容量:76L
●デッドライズ:19° ●定員:10名
●航行区域:沿岸区域 | 搭載エンジン
:マークルーザー 350 Magnum MPI
SEACORE/BIII DTS
●形式:V型 8気筒
●排気量:5,700cc ガソリン
●最高出力:300hp (224kW) |
|--|--|

トヨタマリンエアコン搭載 特別価格¥12,000,000
 ※価格にはアインス推奨オプションが含まれております。



SeaRay

205 SPORT

スポーツ 205 SPORT

試乗艇特別価格¥5,250,000

※価格にはアインス推奨オプションが含まれております。

- | | |
|---|--|
| 主要諸元
●全長:6.40m スイムプラットフォーム含む
●全幅:2.43m ●乾燥重量:1,429kg
●燃料容量:140L
●デッドライズ:20° ●定員:8名
●航行区域:平水区域 | 搭載エンジン :マークルーザー 4.3L MPI / A1
●形式:V型 6気筒
●排気量:4,300cc ガソリン
●最高出力:220hp (164kW) |
|---|--|



Impression

220 SUNDECK

サンデッキ 220 SUNDECK

試乗艇特別価格¥7,140,000.

※価格にはアインス推奨オプションが含まれております。

- | | |
|---|--|
| 主要諸元
●全長:6.71m スイムプラットフォーム含む
●全幅:2.56m ●乾燥重量:2,166kg
●燃料容量:170L
●デッドライズ:21° ●定員:8名
●航行区域:平水区域 | 搭載エンジン :マークルーザー 5.0L MPI / BIII
●形式:V型 8気筒
●排気量:5,000cc ガソリン
●最高出力:260hp (194kW) |
|---|--|



5月16日(水)、滋賀県大津市にあるロータリーピア88でシーレイ3モデルのインプレッションが行われた。取材に協力して頂いたのは、シーレイの日本総輸入元であり、優雅な外見と圧巻の走行性能を両立しているシーレイを毎年多くのシーレイファンに届けてくれているアインスAリゾート社。そんなアインスAリゾート社が今年日本で展開していくのは全37モデル。その中から、今回は「205 SPORT」、「220 SUNDECK」、「260 SUNDANCER」の3モデルについて、ご紹介していこうと思う。取材当日ロータリーピア88に到着した編集部はまずマリーナの雰囲気の良いを実感。所々にシーレイを見ることが出来、とてもアメリカンな雰囲気のあるマリーナだった。早速3モデルの撮影に入ることに。まず、最初に感じたのは『高級感があってかっこいい』ということ。なんだその単純な感想は!と自分で自分を叱責しつつも、やはり見た目の第1印象で必ずそう感じさせてくれ

取材協力:アインスAリゾート株式会社
 大阪府堺市堺区神南辺町四丁120-2
 TEL:072-224-4040 <http://www.eins-a.jp/>



立体感のあるお洒落なロゴ。



広いスペースのパウデッキ。



パウシートは体にフィットしてくれる。



ウェイクを堪能することが出来る。



高級感のあるコックピット。



シートはゆったりとした2人掛け。



見やすい位置のメーターパネル類。



効率の良い配置のコックピット。



シートからベッドにも早変わりする。



中央にテーブルも立てられる。



メンテナンスに優れた配置のエンジン。



スターン部分の収納とラダーステップ。



中央もしっかりとスペースがある。



足元もゆったりしていて座り易い。



くつろぐスペースも十分にある。



エンジンの収納も効率的な配置。



キャビンはとてもくつろげる雰囲気。



ベッドスペースにすることも出来る。



体を起こしやすいパウルーム。



内装は高級感に溢れている。

260 SUNDANCER *Sea Ray* 220 SUNDECK *Sea Ray* 205 SPORT



色使いがお洒落なロゴ。



ウェイクタワーも装備されている。



快適な気分を味わえるパウシート。



シートの裏は収納スペース。



座り心地が良いドライバーズシート。



その隣にはナビゲータシートがある。



女性に嬉しいマリントイレ。



ハンドルの下に収納スペースがある。



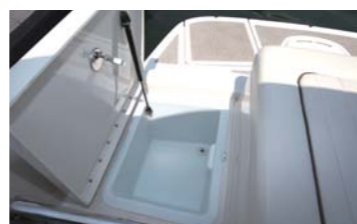
くつろいで座れるスターンシート。



シートからベッドにも早変わりする。



簡単にテーブルも立てられる。



スターンデッキの収納スペース。

るということは、逆に買った後に家族、恋人、友人の誰からも同じ感想が貰えるのでは無いかと思ってしまう。それだけこの『シーレイ』というボートには高級感溢れる雰囲気や節々から感じられる。そんな思いを感じつつ、まずは『205 SPORT』から撮影することに。乗り込んで船内を見渡してみると、自分が想像していた以上にスペースがあって十分広いと感じる。船内は各シート周りにしっかりとスペースが取っており、ウェイクやクルーズを楽しむにはこのサイズで十分楽しむことが出来ると思う。走行中も波をたたいている感覚があまり感じられず、船首が大きく上に上がる事はほとんど無かったため、波を切って走っているとはこのことかと思ってしまうような走行パフォーマンスだった。次は『220 SUNDECK』を撮影することに。こちらは205と比較するとパウシートが広いので、足をゆったりと伸ばすことが出来た。また、スターンシートをベッドに早変わりさせたり、船内にテーブルをセットし、ドライバーズシート、パッセンジャーズシートを回転させたりと、ボートオーナーには嬉しい機能が満載となっていた。また、走行時の安定性もとても高い。走行中にパウシートにゆったり座ってくつろいでいたのだが、ふとこころは波を顔にかぶるのでは?という不安が…。だが、しばらく乗っていても水を頭から被ることは無く、むしろ座り心地も良く景色も抜群!!実は特等席ではないかと思ってしまうほどだった。続いて『260 SUNDANCER』の撮影に。スタイリッシュなボディに思わず目が離せなくなる。キャビン内も高級感に溢れており、ベッドとなる部分は広さも十分で、キャビンでゆっくり休むには十分なスペースを確保してくれている。そして走行時には切れ味鋭い旋回性能と直進の安定性も良く、乗っていて疲れを感じにくい。また、コックピットの位置が高く、260に乗っているよりももっと大きなボートに乗っているような感覚になるくらい、視野が広がるのも面白い。今回のインプレッションに登場した3モデルはどれも高い走行性能と、見とれてしまうくらいの外観を持っている。この魅力溢れるシーレイの3モデルをより深く知って頂くためには、是非一度試乗して頂く事をお勧めしたい。